

---

# リハビリテーション天草病院だより

---

2020年4月

No. 94



発行 埼玉県越谷市平方343-1 / (医) 敬愛会広報委員会

---

## 新年度を迎えるに当たって

医療法人敬愛会理事長 天草 大陸

新年度を迎え新職員が25名入職しました。これを機に今一度、当法人の一施設である病院の運営理念等について整理しておきたいと思えます。これは病院だけにとどまらず当法人が開設する全施設に共通するものであることを先ず以て確認しておきます。また本稿は3年前の巻頭言に若干の加筆、修正したものであることを申し添えます。

今後、当院は患者さんから選ばれるような治療成績などの向上に間断なく取り組み、リハビリなら天草病院と言われるように「ブランド特化」を図っていくことが必要になります。「ブランド特化」のためには、他のリハビリ病院との差別化、言い換えれば、患者さんから全幅の信頼を得られる最も秀でた病院にしなくてはなりません。そのためには、常に自院の役割を明確にし、その役割を遂行していくための「基本理念」等を毎日の仕事の中で実行していかななくてはなりません。理念等に基づいて実行されているかどうか、その実行内容が正しいかどうかを検証するには自己評価だけでは独りよがりになってしまう可能性があります。そこで、最低限、第三者による評価が重要になって参ります。当院は、何年も前から、病院機能評価機構やISOの「優良病院」として認証を受けております。リハビリ病院は、診療報酬上6つのランクに分かれていますが、勿論、当院は最上位に位置し、かつ、気鋭の常勤3名のリハビリ専門医、他の医師は脳神経内科専門医等取得者で県内では「最強軍団」となっております。

以下に当院の基本理念等を示します。

### 《当院設置目的》

良質で効率的な回復期リハビリテーション医療を提供

☆上記医療を担う病院として、重要な課題は、脳卒中等の発症直後に入院する急性期病院（紹介元病院）及び当院退院後に維持期リハビリを担う通所リハビリや訪問リハビリ実施機関（当法人内施設でも鋭意実施中）との連携である。この連携なくしては当院の存在価値はなくなる。「良質で効率的」とは、高級大型車は乗り心地は良いが燃費が高くつき路地などでは小回りが効かず効率性が劣る。当院では高級小型車をイメージしている。

### 《当院運営基本理念》

患者さんに、安心・安全・満足を提供し、誰からも敬愛される病院を創造

☆当法人の名称「敬愛会」は基本理念を一言で表現したものである。

### 《当院運営基本方針》

◎患者さんに対して

- ① 明るい快適で安全な療養環境の提供
- ② 学問的根拠に基づいたリハビリテーション医療の提供
- ③ あらゆる分野においての情報提供

◎職員に対して

- ① 明るい快適で安全な職場環境の提供
- ② やり甲斐、生き甲斐を持って仕事や研究ができる環境の提供
- ③ 仕事や研究等に見合った公平な処遇

## 就労支援友の会

リハビリテーション部 主任（地域リハ担当） 藤沢 麻紀子

当院では、脳卒中や頭部外傷などの後遺症として高次脳機能障害を抱えた方に対する就労支援に取り組んでいます。そして、ご本人とご家族が集まり交流する機会をもち、互いに支え合う形で通院中から就労後も継続した支援が行えるよう、3年前に『就労支援友の会』を発足しました。

### 1. 高次脳機能障害の主な症状

- ◆記憶障害：新しいことを覚えられない
  - ◆注意障害：集中できない、作業ミスが多い
  - ◆遂行機能障害：段取りが上手くいかない
  - ◆社会的行動障害：意欲がない、怒りっぽい
- 高次脳機能障害は“見えない障害”と言われています。症状には個人差があり、ご本人も自覚することが難しく、周囲の理解も得られにくいのが特徴です。

### 2. 当院の就労支援

再就労（復職・再就職）を目指す高次脳機能障害の方に対し、作業療法士や言語聴覚士が関わる通院リハビリとして、ジョブリハ外来を行っています。支援内容は下記の通りです。

- ①書面での検査や、作業課題（パソコンや事務作業課題等）を用いて評価を行い、再就労を難しくしている要因を整理します。
- ②障害についての理解を深め、再就労に向けた生活の構築や必要な対処方法を身につけることが出来るように支援します。
- ③必要に応じて、職場や地域の就労支援機関との連携を図ります。

### 3. 就労支援友の会とは

ジョブリハ外来に通院中の方、終了され就労中の方、そしてご本人を支えているご家族を対象とした交流の機会です。

自己紹介を兼ねた近況報告、歓談、レクリエーションなどを行っています。同じ障害を持った方が集うことで、障害に向き合い、その過程で生じる悩みや不安を語り合っています。また再就労までのステップや、就労後に気がついたことなどの経験を分かち合い、情報交換をする場ともなっています。参加した方からは、「前を向こうという気持ちになれた」、「リハビリを終えた人もこのように集まれることはとても意義がある」といった感想を頂きました。

またご家族も、この先どうなっていくのかという大きな不安を抱えて過ごされております。家族はもっとも身近な支援者であり、家族が心身ともに健康で、障害を理解することはとても重要です。参加したご家族からは、「親睦を深めることができ心強く、勉強になった」などの感想が聞かれました。

### 4. さいごに

就労は、収入を得るばかりでなく、社会とのつながりを構築し、自己実現をはかる大切な意義を持っています。そのため、障害を抱えてもご本人の状態に応じた適切な業務を担い、安定した就労を継続していかれるよう、充実した支援ができる体制を整えていきたいと存じます。

## 「優しい心と笑顔に感謝」

越谷市 岡田 榮子

約4年余りの足の痛みに耐えきれずクリニックからの紹介状を手に越谷市立病院を受診しました。年齢的にも最後かという手術となり2ヶ月後の予約になりました。入院をして2時間半の手術となり、初めての入院ということもあり不安と緊張で心が一杯になりました。両股関節でしたので片方が支えにならず痛みとの戦いで入院生活がとても大変でした。

1ヶ月後、リハビリテーション天草病院に転院となり看護師さん達の優しい笑顔に迎えられ、リハビリスタッフの意気込みが感じられ毎日毎日が充実しておりました。それぞれ病気の違う患者さん達とのふれあい、色々な悩み苦しみや痛みを抱えながら皆様の前向きな気持ちにふれ、改めて人の心の暖かさ思いやりの深さに私自身の気持ちを反省させられました。リハビリスタッフの努力にて6ヶ月後に左側手術となり再入院しました。結果が良く再度、リハビリテーション天草病院にての生活に・・・幸せにも同じ病棟に入ることができ、優しいスタッフの皆様に再会、優しい心と笑顔、言葉に囲まれ心のリハビリにも励むことができました。病棟スタッフの皆様、リハビリの先生方に感謝、感謝の気持ちを忘れずに病棟での楽しい思い出だけを胸のシャッターに焼き付けてこれからの人生、心豊かに、明るく暮らしていけたらと思っております。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

(投稿日 令和元年9月10日)

## 「交通事故でのリハビリ」

越谷市 上原 正

約半年前、バイクに乗っていた私は片側二車線の大通りの交差点で信号無視をした車と衝突し、右大腿骨遠位端開放骨折・右膝蓋骨開放骨折・右脛骨高原開放骨折という怪我を負い川越市にある救急病院に搬送されました。何度もの手術の中で腰から大腿骨への骨移植もし、足が2cm短くなりました。元々、バレーボールをやっていることもあり筋肉の蓄えは普通の人よりあったはずなのですが、4ヶ月も右足を地面に着けられないという入院生活が続き、右足の筋肉はみるみる落ちていき足を地面に着けるようになった頃には、全然踏ん張りが効かない足になってしまいました。そんな時、友人からの勧めでリハビリテーション天草病院を知り、今後またバレーボールをやりたい、ちゃんと仕事に復帰したいという思いから天草病院でのリハビリを希望し、天草病院に入院したのが事故から約5ヶ月経った頃でした。

入院時には諸々の検査とヒヤリング、現状の確認等をして頂きました。担当医、作業療法士、理学療法士、相談員など様々なスタッフが私の話を聞き、これからどのようにリハビリを進めていくのかという流れを説明してくれました。私がどうしたいのか、どうなりたいたのかということ全員がしっかりと聞いてくれました。そして当日のうちにリハビリが開始され、どこが痛いのか、どこに違和感を覚えるのかなど、しっかりと確認をした上で施術をしてくれました。

先生方は皆、気さくに話しかけてくれて、たわいもない話などもしながらリラックスさせてくれて、私自身リハビリの時間が楽しく感じました。そして、先生方は次から次へと

リハビリや、筋トレのメニューを考えてくださり、本当に親身になって考えてもらっているんだなあと感じました。そして、病院の中にはたくさんの作業療法士、理学療法士がおり毎日休まずリハビリをして頂けるという病院の体制にも大変感心致しました。また、看護師も些細なことまで気付き、気遣ってくれる人ばかりで院内での過ごしやすさも素晴らしいと思いました。

私の社会復帰に向けて、まだしばらく入院リハビリの期間が続きますが、天草病院に受け入れて頂き、リハビリをさせてもらって本当に身も心も救われました。残り1ヶ月半程の入院の間に、出来るだけ元の身体に近づけるように頑張りたいと思いますのでよろしくお願ひ致します。

(投稿日 令和元年12月20日)

## 「ラジオ体操を始めました」

野田市 国府田 弘一

新型コロナウイルスが猛威を振るっています。皆さん、手洗いとうがいを続けてください。

私は、リハビリテーション天草病院に入院してはや1ヶ月が経とうとしています。昨年末の12月に骨盤を骨折して3ヶ月、リハビリのためにリハビリテーション天草病院に転院してきました。天草病院はリハビリのスタッフが多く、土曜日・日曜日・祝日も休みのないリハビリが毎日続きます。入院生活でしばらくしまった筋肉が復活してきました。

毎朝6時30分になると、NHKラジオにチャンネルを合わせます。そうすると「タッタタララー」のいつもの音楽が流れてきます。このラジオを聴くきっかけになったのは、ラジオがベッド上にたまたまあって、何気なくスイッチを入れてみると、昔懐かしいラジオ

体操の歌が流れてきたのが、このラジオを聴くきっかけになりました。

病院での朝は、あまり忙しくない時間帯だったことと、自分自身が最近運動不足だなあと思っていたため、続けて聴くことができました。体操は、昔懐かしいラジオ体操第1、第2があって毎朝6時30分から10分間です。NHK第2放送のチャンネルでも8時30分頃にやっています。誰もが聴きなれた音楽を聴くと体が動かせるのではないかと思います。

ラジオ体操をやってみると1回目より2回目、2回目より3回目の方がどンドン体がスムーズに動きます。床に手が届かないのだけでも、ちょっとずつ、少しずつ体が柔らかくなってきている自分がいます。そして、自分自身に向かって「やればできる」の言葉を胸に、毎日6時30分のラジオ体操を楽しみにしている次第です。

皆さん、ラジオ体操で体を動かして元気になりませんか。私はすでに、皆さんより早く始めているので、少し早く元気になっています。まず手始めに、ラジオを1つ準備してください。必ず新しい元気な自分が待っていることと思います。一緒にラジオ体操をしましょう。(投稿日 令和2年3月25日)

## 感謝の声 (投書箱より)

B病棟のスタッフの皆さん、入院生活ではお世話になりました。本当にありがとうございました。リハビリも一生懸命やって頂き病棟では看護師さんたちの元気で明るい笑顔で重たい空気を変えて頂きました。感謝の気持ちしかありません。今は「天草ロス」になりそうです。全てのスタッフの皆様、本当にありがとうございました。必ず、元気になって顔を出します。その時まで。(B病棟 入院患者様より)

## 入退院支援に携わる職員

総合相談部 医療相談室長 小玉 康平

### 《入退院支援体制の構築に向けた取り組み》

医療機関での入院・退院の支援については、これまでの診療報酬改定において大幅な見直しがありました。患者さんへの入院前からの支援や入院後の退院支援について、厳しい施設基準が設けられましたが、当院では、診療報酬の獲得の為ではなく、入院前からの支援や入院後、早期からの介入による退院支援体制の強化が、患者サービスの質向上につながり、重要であると考え、入退院支援体制の充実を図っております。2017年7月に総合相談部内に介護支援専門員（ケアマネージャー）を配置し、2018年1月には患者さんの入退院支援を専門に行う部門を総合相談部内に設置、退院支援看護師を配置しております。

### 《当院の入退院支援体制》

当院の1階に総合相談部という部門があり、患者さんの入院・退院の支援にあたる職員が配属されております。医療相談員6名（社会福祉士）、退院支援看護師1名、介護支援専門員5名、合計12名の職員が配属されております。

入院前の支援を主に担当するのは2名の医療相談員になります。残り4名の医療相談員と退院支援看護師の計5名で入院された患者さんの退院までの相談業務にあたります。介護支援専門員は、退院に向けて介護保険制度によるケアプランの作成、サービスの導入や退院後、患者さんが適切なサービスを受けられ続けるようにサポートしていきます。

### 《入退院支援に携わる職員の主な業務》

診療報酬上の施設基準もありますが、具体的には、以下のような内容があげられます。

- ・入院前の入院相談。退院困難な要因のある患者さんの早期抽出。
- ・入院早期の患者・家族との面談。介護保険制度の申請等の情報提供。
- ・身体障害者手帳・年金制度等の説明、手続についての情報提供。
- ・多職種によるカンファレンスの実施。退院後の在宅サービスや施設サービスの導入に向けた準備。
- ・医療介護機関等との顔の見える連携の構築。連携する機関20ヶ所以上の職員と定期的な面会の実施（年3回以上）。

### 《相談方法・相談時間》

入院前の相談については、入院を希望される方や入院にかかる医療費、入院後のリハビリの体制、入院生活等、様々なご質問があると思います。相談室直通の連絡先がありますので、ご利用いただければと思います。

当院入院後は、退院支援を専門とする専従社会福祉士が1名担当となります。入院早期から退院までの相談業務にあたりますので、何なりとご相談ください。

受付時間・連絡先は、以下の通りとなります。

受付時間 平 日8:30～17:30

土曜日8:30～12:30

電 話 048-974-1239（相談室直通）

## 当老健の3つの特色について

介護老人保健施設シルバーケア敬愛 相談部主任 春日 正裕

介護老人保健施設（以下、老健）は、2017年の介護保険法改正において、要介護者の在宅生活を支える「在宅支援機能」を持つ施設と定義されました。特別養護老人ホームなどその他の施設が終生施設であるのに対し、老健は唯一の在宅支援機能を担う施設となり、当老健においても、この在宅生活支援施設としての機能を重要視し、他の施設にない特色を打ち出してきました。今回は、当老健の3つの特色についてご紹介させていただきます。

### 【超強化型老健をいち早く算定】

老健は、2018年度の介護報酬改定により報酬体系が大幅に見直され、在宅支援機能を「超強化型」から「その他型」までの5段階で評価する体系となりました。当老健は、リハビリテーション天草病院の併設施設という事もあり、もともと充実した個別リハビリの提供を行い、在宅復帰、在宅生活支援に力を注いでいた為、「超強化型老健」を2018年4月より算定できております。全国老人保健施設協会によると2019年10月時点で、全国の老健の中で、超強化型老健を算定している施設は、19.8%程度となっており、算定がいかに難しいかがお分かりになられるかと思えます。

### 【リハビリに特化したリハビリ強化型入所】

リハビリテーション天草病院の併設施設という特色を活かし、2013年10月より当老健独自でリハビリに特化したリハビリ強化型入所というサービスを行い、在宅生活支援に力を入れてきました。施設サービスの基準では、老健でのリハビリテーションの提供は、基本

的に1日20分以上・週2回以上と定められておりますが、このリハビリ強化型入所では、1日60分・週6回（日・祝は除く）実施、その他にも看護師や介護士による器具訓練や機能訓練を実施し、身体機能の維持、向上を目指しております。

### 【新規入所者の半数以上が再入所者】

当老健が最も力を入れている部分が、退所後のアフターフォローです。入所していた方々が在宅復帰された後に地域において安心して在宅生活を送っていただく為に、通所リハビリやショートステイ、さらにはリハビリ強化型入所を含めた再入所などを組み合わせ、在宅生活を支えていけるよう心掛けております。在宅復帰後も定期的にご本人やご家族、担当ケアマネジャー様に連絡を取り近況を確認するようにしており、2019年度では全体の55.1%の方が当老健に過去1度は利用歴のある再入所の方となっております。

### 【さいごに】

私たちは、上記でご紹介した3つの特色を今後も向上させるよう努め、当老健の強みとしていき自信を持ってサービスを提供できるようにしていきます。そして、入所歴のある方や地域の方々が、住み慣れたご自宅での生活がいつまでも継続していけるよう、当老健を利用していただきたいと考えております。身体機能が低下した、介護負担が急に増えたなど何かお困りの事がありましたら、気軽に相談のできる「地域のかかりつけ老健」となるよう努力していきたいと考えております。

## 編 集 手 帳

＊現在、私達の生活を取り巻く環境は「新型コロナウイルス、コロナ」一色で、暗い日々の連続です。明るい気持ちになろうと鼓舞してみても、地球規模での感染拡大、それに伴い死者数も増加、経済も戦後最大の危機、気分は悪くなるばかりですが、コロナとの戦いの収束に向け挙国一致で立ち向かわなければならぬことは子供にも分かります。

＊国家が最大の危機に直面することが分かっていた時点でも、国会は相変わらずの能天気で立憲民主党などの野党に振り回されていました。その代表格が蓮舫氏。中国湖北省武漢市から政府のチャーター機で邦人第1陣が帰国した直後の1月29日の参院予算委員会で持ち時間のほぼ全てを「桜を見る会」の追求に費やしました(産経新聞)。また、同氏は安倍首相が2月末、全国の小中高校などに一斉休

校を求めたときに「こんなめっちゃめっちゃなりーダーシップはない。すぐに撤回すべきだ」と声を張り上げました(産経新聞)。ところが何日か後には「国会の全てをコロナ感染対策に特化し与野党協議を徹底すること。国民のために、世界のために出来ることをすべき」と述べています。状況の変化があったとは言え、余りにも場当たりのです。こんな政治家に何を期待すれば良いのでしょうか。戸惑うばかりです。

＊4月7日、安倍首相が緊急事態を宣言しました。改めて、国民一丸となってコロナとの戦いに挑まなくてはなりません。恐らく我が国は、日本人特有の「真面目さ・勤勉さ」「団結力・絆の強さ」「知的能力の高さ」などから、この危機を乗り越えられると確信します。とにかく今は皆様、新型コロナウイルスから身を守ることに最大限努力しましょう。

(理事長天草大陸)

## 当法人施設が取得する第三者評価認証

患者さんが病院を評価するには、その病院自身の「自己紹介」も参考になりますが、第三者の評価も重要です。当院では「病院機能評価機構」と「ISO」の認証を取得しています。

なお、老人保健施設でも「ISO」の認定を受けています。



### 表紙のことば

新型コロナウイルスの感染が確認され、国内でも多数の感染者が出ていて、社会全体が混乱している状況です。手洗いうがいを確実にすることが、感染リスクの減少になります。必ず、手洗いうがいを心掛けるようにしましょう。今回はC病棟の患者様が協力して作成した桜と菜の花と富士山の切り絵です。4階ホールに飾らせて頂いて、見る人をどこかほっこり笑顔にしてくれています。(C病棟スタッフより)